

# アイルランドのホストタウンに決定！



益田市は2020年の東京オリンピック・パラリンピック自転車競技の事前キャンプ誘致に取り組んでいます。このたび、益田市は8月31日にアイルランドを相手国としたホストタウンに登録（第九次登録）されました。

## ホストタウン登録までの経過

- ・平成30年2月 アイルランド自転車競技連盟関係者による益田市現地視察。
- ・平成30年5月 アイルランド国内で開催される自転車レースにあわせて市長自らアイルランドへ出向き、連盟幹部と面会。
- ・平成30年7月 内閣官房にアイルランドを相手国としたホストタウン登録申請書を提出。
- ・平成30年8月 益田市がアイルランドのホストタウンに登録決定。

## 山本市長によるアイルランド訪問

【日時】5月23日(水)～29日(火)までの7日間

【訪問先】・在アイルランド日本国大使館訪問

三好大使と面会。「大使館としても益田市の事前キャンプを応援したい」との意向を確認。

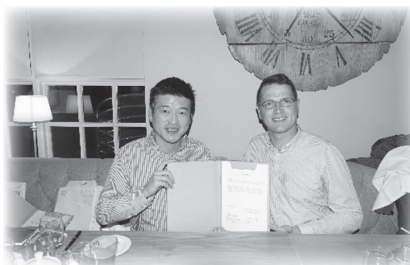
・アイルランド自転車競技連盟幹部との面談

市長のトップセールスにより、ホストタウン登録への国名の記載と2018年オフシーズンに若手選手によるトレーニングキャンプを益田市で実施することについて合意書を締結。また、2019年のプレ大会および2020年の本大会時の事前キャンプについても前向きに検討することを確認。

・自転車レース「Rás Tailteann（ラス・タルチャン）」視察



自転車レース「Rás Tailteann」の様子



連盟幹部との面談



アイルランド国内の街並み

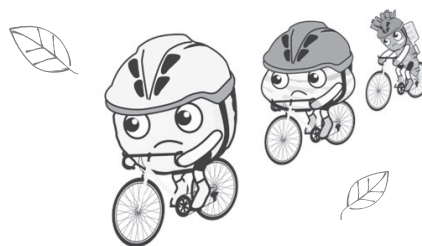
## ホストタウンとは？

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催により、多くの選手・観客等が日本を訪れます。これを契機に、地域活性化を推進するため、事前キャンプ等を通じて大会の参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方自治体を「ホストタウン」として登録認定する制度です。

登録した自治体は、大会等に参加するために来日する選手や大会参加国・地域の関係者、日本人オリンピック・パラリンピアンと市民が交流を行う場合、各種財政支援等を含め、国からの支援が受けられます。

- ・第九次登録時点でのホストタウン登録件数…264件(自治体数：334自治体、国および地域数：103カ国)
- ・県内の登録状況（第九次登録時点）

自治体名	相手国
松江市	アイルランド
邑南町	フィンランド
奥出雲町	インド
益田市	アイルランド



# アイルランドの若手選手が益田にやって来る！

山本市長がアイルランドを訪問した際に合意をいただいた「アイルランドの若手選手によるトレーニングキャンプ」が、下記の日程により益田市で実施されます。



## 日程

11月6日(火)～11日(日)までの6日間(予定)

## 場所

市内の一般公道

※トレーニングキャンプでは選手4～5名が自転車で走る予定です。車両通行止め等の規制は予定していませんが、安全対策には万全を期して実施します。また、実際に路上での走行練習が行われる際には、近隣住民の皆さまには大変ご迷惑をおかけすることとなりますが、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

## 選手等

若手選手および監督、コーチ等関係者を含め10名程度。

## 市民との交流事業

滞在期間中に市民との交流の場を設ける予定です。

アイルランド若手選手によるトレーニングキャンプの際は、アイルランド自転車競技連盟幹部の方も益田市を訪れる予定です。このトレーニングキャンプを成功させ、2019年および2020年の事前キャンプへつなげていきたいと考えています。

市民の皆さんも一緒になってアイルランドの若手選手を歓迎・応援しましょう！

## アイルランドってどんな国？

### PART.1

**国名**：アイルランド（首都：ダブリン）

**人口**：約476万人（2016年国勢調査）

人口構成は若年層人口がEUで最も多く、30歳未満の人口が全体の4割を占める

**面積**：70,282km<sup>2</sup>

※北アイルランドを合わせても84,421km<sup>2</sup>と日本の北海道とほぼ同じ大きさ

**公用語**：第一公用語はアイルランド語、第二公用語は英語

**通貨**：ユーロ（€）

**時差**：夏は日本より8時間遅れ（日本の正午がダブリンの午前4時）

冬は日本より9時間遅れ

**気候**：平均気温は夏で14～16℃、冬でも4～7℃と緯度の割には比較的温暖。

一日のうちで天気の移り変わりが激しく雨具は必須。雨が多いため牧草が常に青く、島全体が濃い緑に包まれているため「エメラルドの島」とも言われている。

**スポーツ**：サッカーに似たゲーリックフットボール、ホッケーに似たハーリング等の伝統的なゲーリック・スポーツが盛ん。ラグビーは世界ランキング2位の強豪国。また、ゴルフやサッカーも人気がある。世界有数の馬の産地でもあり、アイリッシュダービーに代表されるように競馬も盛ん。自転車競技も盛んで今年のツール・ド・フランスにおいてアイルランド選手がステージ優勝を飾っている。

※ 在アイルランド日本国大使館資料より抜粋



益田市は今後、アイルランドと様々な面で交流を進めていきます！

また、広報ますだでもアイルランドの紹介をしていきます！



# 全国のサイクリストが益田の街を満喫！

9月2日(日)、「第7回益田 INAKA ライド」が島根県芸術文化センター「グラントワ」をスタート・ゴールとして開催されました。益田 INAKA ライドは、NPO 法人益田市・町おこしの会の皆さんが2012年から開催しているファンライド（順位を競うのではなく、景色や地元ならではの食を楽しみながらゆっくりと走る自転車イベント）で、今年で7回目の開催となります。毎年全国各地から多くのサイクリストが参加し、今年も東は千葉県から南は沖縄県まで、総勢546名の方が参加しました。

このイベントの特色は、何ととっても「普段、飛行機が離発着している萩・石見空港の滑走路を自転車で走ることができる」、「途中のエイドステーションでの地元ならではの食材を使ったおもてなし」、そして「沿道での市民の皆さんの声援」で、参加したサイクリストからは高い評価をいただいています。また、リピーター率も5割を超えるなど非常にリピーターが多く、毎年定員が一杯となるイベントです。

今回、この「第7回益田 INAKA ライド」の当日の様子をお伝えします。



スタートのグラントワから空港までは参加者全員でパレードラン(左) 参加者全員が感動する萩・石見空港滑走路の走行(中・右)



市内の各地を自転車で走り、益田の自然を満喫していただきました



参加者が疲れを癒すエイドステーション（地域の皆さまからのおもてなしは参加者に好評です）

写真提供：NPO 法人益田市・町おこしの会



## 参加者からの声（益田 INAKA ライド実行委員会提供資料から抜粋）

- ・「INAKA」というネーミングどおりの、とてもいい意味で田舎らしい素朴で人情あふれた大会でとてもよかったです。沿道の皆さんの温かい声援で目頭が熱くなりそうでした。ありがとうございました。
- ・今年が初参加で滑走路を走るといふ貴重な体験をさせていただき感動しました。各エイドステーションでの美味しい食材や地元の方のサポートのおかげで完走することができました。来年もぜひ参加したいと思います。
- ・過去にたくさんのロングライドに参加しましたが、今までで最高のライドだったと思っています。スタッフ、沿道の応援、エイドステーションでのおもてなしなど全てにおいて楽しく走らせてもらうことができました。これからもぜひがんばってください。

大会当日は、自転車の走行により、車両等の通行において大変ご迷惑をおかけしました。また、早朝から市民の皆さまにはコース上の立哨員としてのお手伝い、エイドステーションのお手伝い、沿道でのご声援等にご協力いただき、誠にありがとうございました。